



南畑小学校出場 交通安全子供自転車埼玉県大会

第46回交通安全子供自転車埼玉県大会

大会の概要

交通安全子供自転車埼玉県大会は、小学校児童に対して自転車の安全走行に関する技術と知識を身につけさせ、交通事故の防止を目的に毎年行われているもので、今年で46回目となります。埼玉県警、県教育委員会、(財)県交通安全協会の主催により、6月30日



優勝旗の返還の様子

昨年、一年間に埼玉県内で起きた自転車事故による小学生の死傷者数は790人、そして一年間に盗難された自転車の台数は27000台にもなるそうです。県ではこうした状況を踏まえ、子どもたちの交通事故を減らすための取り組みとして自転車大会を開催しています。今年も熊谷で開催され、南畑小学校も大会に参加しました。そこで今回は、この大会の様子などについて紹介します。

(担当) 新井博海、野本巳智子、行川哲哉、三塚好江、表紀子、新井紀子、加藤和代、清水義昭、大澤敦子、三瓶雅人、松下佳子、武井香代子

に行われたこの大会には、県内39の警察署管内から41校(うち2校は前年度の優勝・準優勝校)が選ばれ、自転車の安全走行に関する知識や技術を競いあいました。優勝したチームは全国大会にも参加します。

今回、東入間警察署管内からは南畑小学校が代表として大会に参加しました。

指導教諭の木村先生

練習を始めた当初は、大会に参加できるレベルに達するの心配になったほどでした。しかし、子どもたちは毎日本当によく頑張ってくれました。

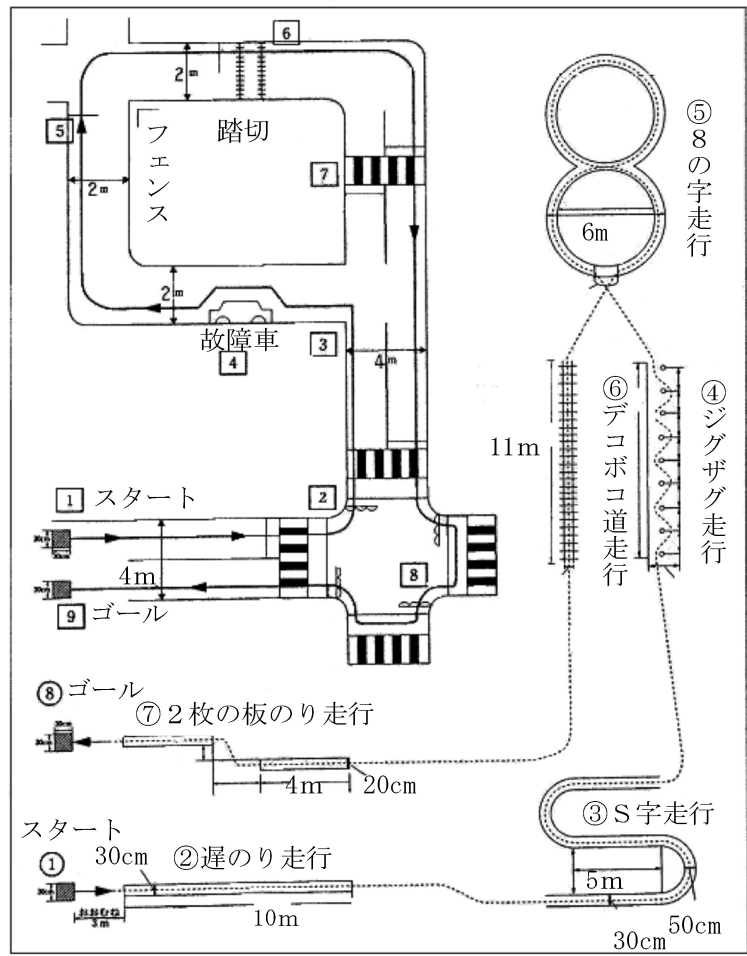


筆記試験の様子

学科については塾や習い事で忙しい合間をぬって、家でも勉強するなどよく努力してくれました。実技のほうも日に日に上達し、絶対無理と思われていた遅のり走行や110cmの間隔のピンを走るジグザグ走行などもできるようになりました。知識や技術だけでなく、発進前や実技終了後の

「他の学校は人数が多く、応援団もいました。私たちは4人しかいなかったけど、一人ひとりが全力でできたと思います。それぞれが緊張したと思うけど、私は一番目だったのですが、私には終わりのお昼ご飯がおいしく食べられました。結果発表では20位以内に入らなかったけど楽しくできて良かったです。」(吉川花菜さん)

実技テストコース図 (安全走行テスト・技能走行テスト)



競技方法

○学科テスト

「自転車の交通安全ブック」に示されている自転車の安全な乗り方についての筆記テスト

- ① 交通規則に関する問題20問
- ② 道路標識・標示に関する問題20問
- ③ 自転車の安全な乗り方に関する問題20問

○実技テスト(右図参照)

- ① 安全走行テスト(持ち点350点) [1]~[9]
- ② 技能走行テスト(持ち点250点) [1]~[8]
- ③ 遅のり走行 [S字走行] [ジグザグ走行]
- ④ 8の字走行 [終了点での停止]

~自転車を盗難されないための3か条~

- ① どんな場所でもカギをかける
- ② 二重ロック(ワイヤーのカギも併用)
- ③ 敷地内に置く(道路に放置しない)



者の中で一番最後でした。

「彩の国くまがやドームで交通安全子供自転車埼玉県大会が行われました。ぼくたちは、この日にむけて、一生懸命頑張りました。特にジグザグ走行のピンがとて難しかったです。初めてするときよりピンを倒さずに通れるようになりました。そして、本番はすごく緊張しました。隣の和田小(新座市)の旗が上がり、その勢いに圧倒されました。ぼくの走行試験の順番は、出場者の中で一番最後でした。」

すごく緊張しました。お弁当もあまり食べられませんでした。いよいよぼくの番になりました。失敗もしたけど、最後までやり切れてよかったです。あまりよい結果ではなかったけど、一生懸命やれたのでよかったです。最後の最後、だれよりも大きく拍手をもらえてうれしかったです。感動しました。」(萩元悠生君)

「自転車大会では、人がいっぱいいて、すごく緊張しました。練習でできたことが本番では全然できませんでした。だけど全力でできたのでよかったです。次に南畑小学校が自転車大会に参加したときは、頑張つてほしいです。」(小林大起君)

「私は、自転車大会で、今まで知らなかった特別なことをいろいろ学べた。」



取材をおえて

大勢の観衆が見守る中での試験は特に緊張したことと思います。子どもだけでなく、大人も自転車の正しい乗り方を身につけていく必要性を感じました。

取材協力 南畑小学校